



大連で人気の高まる宝くじ自販機

北陸銀行 国際部
大連駐在員事務所
金春梅

1. はじめに

最近大連では、地下鉄駅やデパート、映画館など集客しやすい場所に「中国福利彩票（宝くじ）」自販機がたくさん設置され、主に「即開型（スクラッチ）」くじが販売されており、若者たちの人気を集めています。

そこで今回は、中国の宝くじ販売動向と若者間のトレンドについてご紹介いたします。

2. 中国の宝くじ

中国の宝くじの種類には、スクラッチ型、ロト・ナンバーズ型、キノ型、クイズ型などがあります。宝くじの発行元は、福利くじを発行する中国福利くじ発行管理センターとスポーツくじを発行する国家体育総局スポーツくじ管理センターで、いずれも中国財政部が主管機関になります。

宝くじの販売場所は、自販機以外にも伝統的な宝くじ店やコンビニなどの店舗のほか、宝くじ公式WEBサイトやスマホアプリなどがあります。宝くじ金額は1枚2元、5元、10元、20元、30元、50元があり、当選金額は5元～数千万元まであります。

この15年の宝くじの販売状況を見ると、前年同期比の伸び率はコロナ前まで漸減傾向で、コロナ禍では大きく落ち込みましたが、コロナ後は急拡大しています。

財政部が発表した全国の宝くじ販売額によると、今年1～4月累計では1,751.50億元で前年同期比578.33億元増(+49.3%)となり、4月単月でも503.26億元で前年同月比192.54億元増(+62%)となっています。そのうちスクラッチくじの販売額は89.36億元で、前年同期比84.1%増加しています。

【直近15年の中国の宝くじ販売動向】（出所：智谷趨勢）



3. 若者たちがスクラッチくじを好む理由

若者たちがスクラッチくじを購入する理由としては、当選金のためだけでなく、ストレス解消・運試し・気分転換・驚き体験・流行などが挙げられます。特にコロナ禍で自由な行動が制限された経験から、他人と接触しない手軽な娯楽に対するニーズが高まったのではないかと思います。

そのため宝くじ発行元は、積極的に若者層を開拓しようとしています。

動画投稿アプリ「TikTok」や若者向けSNSサービス「小紅書」では、多くのユーザーが写真や動画を投稿しています。

ネットユーザーたちのコメントには、次のようなものがあります。

- ・「スクラッチは、仕事や生活のストレス解消のためのミルクティーのよう」
- ・「当たったら最高、当たらなければ公益事業に寄付をした、よいことをした」

動画では、一冊（500円、10元～20元の額面）のスクラッチくじを丸ごと（一気に）擦るなど、さまざまな遊び方を紹介しています。また、「スクラッチ」花束を誕生日や職場の退職者への饞別に送ったりするなどの社交ツールにもなっています。



【スクラッチくじ自販機に群がる若者たち】



【贈答用のスクラッチ花束】

4. おわりに

中国の宝くじ総販売額は、世界発行額の2%程度にしか過ぎないそうです。また世界の主要先進国(米国、フランス、日本など)では75%以上の人々が宝くじを買ったことがあるのに対し、中国ではまだ10%の人しか宝くじを買ったことがありません。となると中国の宝くじ販売には、まだまだ拡大余地がありそうです。

とはいえ、購入者層の裾野拡大のために若者をターゲットにした宝くじの身近さ・買いやすさをPRする戦略自体は認められるものの、ギャンブル依存症や未成年者への悪影響などの問題が過熱してくると、ある程度の規制も必要になってくるかもしれません。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。
記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp